

政策分析シート（平成29年度）

政策名	利便性の高い都市基盤の整備	政策No	12	部名	防災都市づくり部		
関連部名		部長名	松土	内線	2800		
行政評価事業体系	分野	安全安心都市					
目的	荒川区は、都心に近接した立地と交通の利便性に恵まれていることから、近年、来街者や人口の増加も続いている。さらに、住みたい、住み続けたい街の実現を目指して、道路等の都市施設の整備、駅前再開発の推進、防災街づくりの推進、公共交通網の整備等を進め、防災性が高く、良好な住環境の市街地に改善する。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		26年度	27年度	28年度			
	生活環境の充実	3.13	3.19	3.22	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
	防災性	2.34	2.28	2.31	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
	交通利便性	3.84	3.91	3.88	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？		
	まちなみの良さ	2.90	2.96	2.95	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？		
標	政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み		
	住環境条例の条例適合率（％）	100	100	100	100	100	適合件数 / 届出件数 計画時
	都市計画道路の整備率（％）	58.1	58.1	58.1	58.1	69.3	完成5,160m / 計画8,886m(平成29年3月未延長)
	コミュニティバスの乗車人員（人/日）	3,367	3,448	3,445	3,700	4,600	一日あたり
	市街地再開発事業の進捗率（全地区）（％）	76	76	76	76	100	各地区(日暮里、西日暮里、三河島、南千住、町屋)の平均

（単位：千円）

行政コスト計算書	行政費用	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
		給与関係費		302,446		地方税等		0	
		物件費		145,355		国庫支出金		0	
		維持補修費		27		都支出金		6,154	
		扶助費		0		分担金及び負担金		0	
		補助費等		5,215		使用料及び手数料		24,735	
		減価償却費		86,363		その他行政収入		9,369	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		40,258	
		賞与・退職給与引当金繰入額		15,698		行政収支差額(a)-(b)=(c)		527,231	
		その他行政費用		12,384		金融収支差額(d)		666	
		行政費用合計(b)		567,489		通常収支差額(c)+(d)=(e)		527,897	
		特別費用(g)		0		特別収入(f)		0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		527,897			
貸借対照表	流動資産	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
		収入未済		0		流動負債		27,334	
		不納欠損引当金		0		還付未済金		0	
		その他の流動資産		0		特別区債		6,624	
		有形固定資産		6,001,735		賞与引当金		15,320	
		土地		4,361,986		その他の流動負債		5,390	
		建物		507,247		固定負債		260,120	
		建物減価償却累計額		282,820		特別区債		27,647	
		工作物等		3,175,056		退職給与引当金		216,303	
		工作物等減価償却累計額		635,033		その他の固定負債		16,170	
		無形固定資産		0		負債の部合計		287,454	
		建設仮勘定		11,757		正味財産		5,753,697	
その他の固定資産		27,659		正味財産の部合計		5,753,697			
資産の部合計		6,041,151		負債及び正味財産の部合計		6,041,151			

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>都市計画道路については、平成19年度に補助306号線、平成22年度に補助107号線の整備が完了以降、整備率58.1%に変動はない状況である。</p> <p>区民の身近な足として導入したコミュニティバスは、「さくら」の導入以降、新たに「汐入さくら」「町屋さくら」も運行を開始し、乗車人員は増加傾向にあり、利用者からの評判も良好である。</p> <p>三河島駅前北地区については、周辺に密集市街地があり、また旧真土小学校を含めて低・未利用地が比較的多いなど、地域の防災性や駅前の賑わいが不足している。また、西日暮里駅前は、区内有数の交通結節点でありながら、駅前の快適性向上や賑わい創出に寄与する整備が行われていない。</p>
課題	<p>都市計画道路の整備にあたっては、土地所有者等関係権利者の理解を得て、既存道路との接続による交通への影響等を考慮しながら進める必要がある。</p> <p>コミュニティバス未導入地域で交通経路が不足している地域におけるアクセス改善を図る必要がある。</p> <p>三河島駅前北地区については、大部分が木造住宅密集地域であり、細街路やオープンスペースの整備、老朽建築物の建替え等を推進し、地域の防災性向上を図る必要がある。また、西日暮里駅前については、地区全体としての賑わいを創出するため、区民のみならず区外の人でも利用しやすい交流施設や商業施設、防災拠点となるオープンスペース等を整備する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>豊富な交通ネットワークを有効活用するとともに、幹線道路の整備や生活道路の拡幅を計画的に進めるなど、都市の基盤づくりを確実に進めていく。</p> <p>再開発による拠点整備を進め、多様な都市機能が集積した、にぎわいのある市街地を形成していく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	29年度設定	30年度設定	
快適な市街地環境への誘導	推進	推進	区の都市計画マスタープランに基づき、秩序ある街づくりを進め、快適な市街地環境整備を誘導していく。
都市計画道路の整備	重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備は、街の防災性向上等の観点から、優先順位を定めて計画的に推進していく。
交通環境の整備	重点的に推進	重点的に推進	交通機関の充実や交通不便地域における利便性の向上、及び快適な道路環境の整備を推進していく。
市街地再開発事業等の推進	重点的に推進	重点的に推進	各地区で策定したまちづくり構想に掲げる将来像を実現するため、再開発を推進する必要がある。